

## 消化器肝臓内科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行うもので院内臨床研究審査委員会での審査・承認を得ています。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」（平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下へご照会ください。

《研究課題名》 切除不能進行・再発胃癌に対する薬物療法の治療効果と副作用についての検討

《研究機関名》 関西医科大学附属病院 消化器肝臓内科

《研究責任者》 段原 直行（消化器肝臓内科 診療講師）

《研究の目的》

S-1+オキサリプラチン（SOX）療法や、S-1+シスプラチン（SP）療法、血管新生阻害剤のラムシルマブの治療効果と副作用について調査することが目的です。

《研究の意義》

本研究の結果により新規薬剤による治療効果、副作用が明らかにできると考えています。

《研究の方法》

●対象となる患者さん

切除不能進行・再発胃癌の患者さんで、2006年1月から2018年12月31日までに抗癌剤の治療を受けた方

●利用するカルテ情報

年齢、性別、検査所見、臨床経過、治療効果、副作用など。

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《個人情報について》

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、患者さん個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

\*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《利益相反》

この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さんの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

《問い合わせ先》

大阪府枚方市新町2丁目3番1号

関西医科大学附属病院 消化器肝臓内科

担当医師 診療講師 段原 直行

電話 072-804-0101 (代表)